

札幌モーターショー2014を開催

一昨年に続き2回目となる「札幌モーターショー2014」が2月14日(金)～16日(日)札幌ドームにおいて開催され、目標の10万人を上回る115,264人が来場しました。

会場では、輸入ブランドの高級車や国産メーカーのコンセプトカーが注目を集めたほか、親子体験教室や試乗体験、さっぽろスイーツカフェなど多様なプログラムが行われました。

CONTENTS

札幌モーターショー2014を開催	1
情報BOX	2～5
札幌スタイル認証製品を紹介します。	5
がんばれ!札幌の企業(第18回)	6
スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業紹介③7	6
平成25年度下期企業経営動向調査速報	7
情報BOX	8
データで見る! さっぽろ経済の動き	8
中小企業経営セミナー	8

札幌市の映像制作関連の助成制度のお知らせ

札幌市映像制作助成金

市内における撮影の一部の助成を行う札幌市映像制作助成金を活用し、これまで海外ドラマ、海外バラエティ番組、海外旅行番組、国内映画などの撮影が札幌・北海道で行われています。このように、札幌市では、特に海外からの映画やドラマ、テレビ番組等を札幌・北海道で撮影を行い、広く札幌・北海道の魅力を発信する取組を進めています！
26年度についても引き続き実施の予定です。

平成25年度の実績

国際共同制作案件9件(タイ、インドネシア、ベトナム、シンガポール、マレーシア、台湾、香港、インド、ロシア)に加え、国内映画1件の合計10件に対して助成を行っています。(平成26年2月末現在)

■札幌市映像制作助成金の概要は以下のとおり

背景・目的

札幌市では、平成23年12月に札幌コンテンツ特区の指定を受け、札幌・北海道のインバウンド観光の増加や貿易促進を実現するために、アジアにおける映像コンテンツの国際共同制作・国際共同流通・共同人材育成を推進しています。

この取組を進めるなかで、市内における撮影の誘致を促進するため、平成24年度より、「札幌市映像制作助成金」として市内で支出される撮影費の一部について助成を行っています。

助成の対象となる映像制作

- ・ 札幌市内の事業者により、又は札幌市内の事業者を活用して制作すること
- ・ 北海道内において5日以上、かつ札幌市内において1日以上、映像制作業務が行われること
- ・ 制作した映像が、海外もしくは全国など広く一般に映画やテレビ番組等の媒体で放送・公開が決定していること
- ・ 撮影の開始日前に助成金対象事業指定申請書その他必要書類を提出すること
- ・ 別に開催する審査委員会において、申請した映像制作が札幌コンテンツ特区の推進に資するものと判断されること
- ・ 映像完成後すみやかに映像を提出するとともに、札幌コンテンツ特区の取組をプロモーションするに当たり使用可能な映像や写真を無償で提供すること
- ・ 撮影を行う際は、法令を順守するとともに、現場での安全管理を怠らないこと

助成対象経費、助成基準

映像制作のために札幌市内で(又は札幌市内の事業者により)支払われた経費、及び助成金対象事業指定通知を受けた者が負担した経費(1件当たりの助成金の上限は1千万円)

	対象経費	算定基準
施設使用料	札幌市所有施設 (貸施設・公園等)	全額
	上記以外の施設	1/3 (※2/3)
許可手数料		全額
人件費	監督、演出、照明技師、録音技師、助手、カメラマン、デザイナー、ヘアメイク、スタイリスト、ロケーションコーディネーター、警備員、エキストラ、編集者、CG技術者、アニメーション制作者、音楽家等の映像制作関係者	1/3 (※2/3)
機材費	機材等レンタル費	1/3 (※2/3)
車両費	ロケバス・劇用車等レンタル費及びタクシー代等	1/3 (※2/3)
宿泊費	映像制作関係者の宿泊費 1人1泊 上限 15,000円	1/3 (※2/3)
札幌市内への往復国内航空賃	市長が必要と認める区間の航空賃 1人往復 上限 60,000円	1/3 (※2/3)
札幌市内への往復国際航空賃	市長が必要と認める区間の航空賃 1人往復 上限 300,000円	1/3 (※2/3)
その他経費	その他市長が必要と認める経費	1/3 (※2/3)

※算定基準中「2/3」とする場合は、共同制作の相手方が海外に所在する場合

※札幌市内への往復国内・国際航空賃については、札幌市内の旅行会社へ手配を行った経費のみ対象

プロダクトプレイスメント映像制作促進助成金

プロダクトプレイスメント（※）映像を活用し、市内の事業者が海外へプロモーションを行い、インバウンド観光客や商品の販売につなげようとするプロジェクトに対して助成を行います。26年度からの新規事業となります。（予定）
制度詳細については、決定次第、ホームページ等でお知らせいたします。

※ CMではなく、テレビ番組や映画ドラマ等の番組・作品自体に商品等を映し出すプロモーション手法のこと

【お問い合わせ先】

札幌市経済局特区推進担当課
電話：011-211-2379

【札幌市映像制作助成金のホームページ】

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/tokku/eizou-jyosei.html>

インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）が クリエイティブコンサルティングを始めました。

インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）では、自社の事業展開において、デザインやコンテンツ等を取り入れることを検討している企業、事業者の方々へ向けたコンサルティングを開始しました。

各企業にとって、デザインやコンテンツ等の活用は、新規事業の展開や販売促進、経営課題の解決やブランドの確立のためには欠くことのできないものとなっており、その重要性が高まっていますが、こうしたいわゆるクリエイティブと呼ばれる分野の活用においては、多岐に渡る専門的知識が必要となり、自社にその仕組みを取り入れることは容易ではありません。

そこで、ICCでは、クリエイティブ分野の専門家を配置し、各企業がデザインやコンテンツ等を活用する際の悩みに向き合い、積極的な活用につなげるための支援を行います。

「クリエイティブを活用するには何が必要だろう？」などとお悩みの事業主、ご担当者の皆さまに分かりやすくコンサルタントがお応えします。



申込み・問合せ方法

電話もしくはE-mailにてお申し込み。E-mailの場合は件名を「クリエイティブ・コンサルティング希望」とし、本文に連絡先及び相談内容をご記入ください。

費用

初期コンサルティングは無料（ただし、デザイナー等の実際の活用等、具体的な内容に進展した場合は有料となります）

場所

ICC内窓口もしくは、直接企業へお伺いすることも可能です。

【お問い合わせ先】

インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）
札幌市白石区東札幌5条1丁目
札幌市産業振興センター内
電話：011-817-8911 E-mail：info@icc-jp.com
ICCホームページ <http://www.icc-jp.com/ja/>

平成26年度 商店街等に対する支援制度概要

札幌市では、平成26年度に商店街等が実施する事業に対する支援を行います。各事業の概要は支援制度説明会(※)にて説明を行いますので関係者の方はご参加ください。※平成26年3月25日(火) 15時～ 2時間程度 札幌市役所(中央区北1条西2丁目)12階1号会議室

事業概要 商店街や小売市場が魅力を高め、より多くの住民が集い、にぎわう商店街づくりに取り組む事業に対する支援
※「商店街にぎわいづくり事業」と「商店街集客力アップ事業」は、1団体につき、いずれか一方のみ申請可

応募期間 平成26年4月11日(金)～平成26年5月30日(金) (予定)

事業名	事業内容	補助期間	補助率	補助限度額
商店街にぎわいづくり事業	商店街等が地域と連携しながら、にぎわいを創出するために、夏祭り等のイベント事業に取り組む場合の補助	各年度1回、 通算5回まで ※同一イベントの場合	2/3以内	年額20万円
商店街集客力アップ事業	商店街等が地域に密着した商業地として魅力を高め、地域住民による利用拡大を図るPR誌発行等の事業に取り組む場合の補助	最長3年間	2/3以内	年額80万円
商店街環境整備事業	商店街振興組合等が、一般公衆の利便を図るための環境整備施設を設置する場合の補助 ◆前年9月までに仮申請する必要あり	事業開始から完了まで	20/100以内	2000万円

事業概要 商店街や小売市場が、地域住民から求められている課題に対応し、商業機能の再生に向けた取り組みができるよう重点的に支援 ★選考委員会あり

応募期間 平成26年4月11日(金)～平成26年5月30日(金) (予定)

事業名	事業内容	補助期間	補助率	補助限度額
商店街計画づくり事業	商店街等が活性化に向けた長期的な計画づくりに取り組む場合の補助	最長3年間	10/10以内	年額150万円
安心できる商店街サポート事業	商店街等が、地域の高齢者等にとって買い物しやすい環境づくりに取り組む場合の補助	最長3年間	[1年目] 2/3以内 [2・3年目] 1/2以内	年額200万円
空き店舗活用事業【コミュニティ型】	商店街等が商店街区及び小売市場内にある空き建物又は空き室を活用して、魅力向上のための新規事業に取り組む場合の補助	最長3年間	[1年目] 1/2以内 [2・3年目] 1/3以内	費掛料 [1年目] 月額5万円 [2・3年目] 月額3万円 事業運営費 [1年目] 年額200万円 [2・3年目] 年額190万円
地域連携促進事業	商店街が地域の多様なメンバーと一緒に企画を考える場に、進行役(ファシリテーター)を派遣し、アイデアの整理等をサポート	—	—	—

応募期間 札幌市経済局産業振興部産業振興課へ別途お問い合わせください。

空き店舗活用事業【商業機能充実型】	・商店街街区(※)にある空き店舗を借り上げて店舗を開業する方に対し、開業に係る初期経費の一部を補助 ・創業支援機関の中小企業診断士の事業計画書作成の相談受付や開業後の経営アドバイスなどのサポートあり ★選考委員会あり	出店後に交付	2/3以内	100万円
商学連携事業	・学生から商店街の活性化に向けたアイデアを募集するコンテストを実施(9月開催予定) ・選ばれたアイデアを活用して、実際に商店街が事業を実施する場合の補助 ★選考委員会あり	半年度	10/10	グランプリのアイデアの 報酬は→200万円 準グランプリのアイデア の報酬は→100万円

※【対象商店街】6月1日現在で、30人以上の組合員が近接し、定款等で街区を条丁目まで明確にしている商店街
行啓通、北24条、麻生、曙路中央、新琴似中央、札幌、本郷、北都、平岸中央、平岸、美園、豊平、月寒中央、石山、藻南、琴似、発寒北、発寒、手稲本町(「商店街振興組合」「商工会」を省略)

なお、平成26年度の支援内容は、実施に係る平成26年度予算案が現在市議会にて審議中のため、予算の成立が支援実施の前提となります。

【お問い合わせ先】札幌市経済局産業振興部産業振興課 電話：011-211-2372

平成26年度さっぽろベンチャー支援事業 支援対象者募集(3件程度)

(一財)さっぽろ産業振興財団では、支援メンバーである民間の創業支援機関や北海道大学、小樽商科大学、札幌大学、ノーステック財団、北海道立総合研究機構などとともに「さっぽろ起業家総合支援協議会」を組織し、起業家・ベンチャー企業の育成を行う『さっぽろベンチャー支援事業』を実施しています。

この支援事業は、将来性の高いビジネスモデルや独自の技術を持っている企業・個人を選定し、支援メンバーが総合的かつ継続的に『ハンズオン型』支援を行うものです。これまでにこの事業に採択された多くの方がビジネス化を果し、着実に事業を展開しています。札幌の未来を支える元気な企業めざして、一緒にチャレンジしてみませんか?



申込期間 平成26年5月1日(木)～5月22日(木)まで(予定)

対象分野 ライフサイエンス分野、情報通信分野、環境分野、ナノテクノロジー・材料分野、積雪寒冷分野、健康サービス・福祉関連分野、コンテンツ分野、食分野、観光分野 他

対象者 支援対象となる主な条件は以下のとおりです。詳細については、下記ホームページからダウンロードできる「募集要項」をご確認ください。事務局までお問合せください。http://www.sec.or.jp/venture/

- 上に示す対象分野において、これから起業を目指している又は設立3年以内の中小企業者であること
- 優れた特許等を既に有するなどの技術的優位性、もしくはビジネスモデルの先進性などにより他者との差別性があるもの

補助金額 1社あたり300万円まで(補助率10/10)

支援内容(一例)

- 事業計画・事業戦略の策定・見直し、専門家による経営指導や会社組織(チーム)作りの指導
 - 市場調査や見本市等への出展、試作品のテストマーケティング、支援メンバーの人的ネットワークを活用した販路の開拓
 - 商品化に最適な研究機関の紹介や特許出願関連調査、必要な機器の提供(レンタル・リース) ほか
- 上記に係る経費は、支援計画に基づき支援メンバーが支出したのち、協議会が支援メンバーに対し支払うこととなります。

※本支援事業の実施につきましては、札幌市及びさっぽろ産業振興財団における平成26年度事業予算の成立が条件となります。内容変更などの可能性もありますことをあらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】さっぽろ起業家総合支援協議会事務局((一財)さっぽろ産業振興財団内)
電話：011-820-2062 http://www.sec.or.jp/venture

平成25年度札幌市優良農業者等表彰

札幌市では、農業振興に貢献したと認められる方について、昭和51年度から毎年度、表彰を実施しており、今回の受賞者を含め、これまで159の個人・団体・指導者が受賞されています。平成25年度の表彰式は、平成26年1月22日（水）に市役所市長会議室にて執り行われました。



さかじり あきよし
坂尻 明芳さん

道内でもトップシェアを誇る札幌の小松菜の代表的生産者として、安全・安心な野菜づくりをモットーに高い栽培技術と生産実績で、本市の農業の発展に貢献されました。

また、多年にわたり、札幌市農協のそ菜部会の役員として、他の生産者の模範となり、札幌のそ菜の生産を支えてこられました。

これらの功績により、今回の表彰となりました。



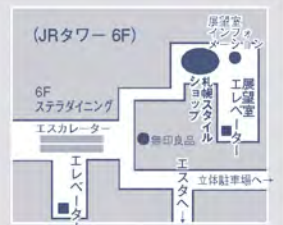
札幌スタイル認証製品を紹介します。 Zion (シオン) フローリストケース



熟練した革職人が作り上げる牛本革の花ハサミケース。高いデザイン性で、ガーデニングをスタイリッシュに楽しむことができます。

札幌の四季に合う7色展開。

販売元	株式会社 i.d.o (アイ・ディ・オー)
価格	13,800 円 ※ 4 月以降の価格は札幌スタイルショップに お問い合わせください。[電話：011-209-5501]
買える場所	札幌スタイルショップ (北5西2 JR タワーイースト 6階展望室入口) 等で 好評発売中。



「札幌スタイル」とは

「札幌スタイル」とは、札幌市が認証している地域ブランドです。札幌の暮らしから生み出された札幌らしい製品を認証し、市内企業のものづくりを支援しています。

詳細は、札幌スタイル公式ホームページをご覧ください。

<http://www.sapporostyle.jp/>

中小企業のための福利共済・退職金共済制度にご加入を

公益財団法人札幌市中小企業共済センター（愛称：さぼーとさっぽろ）は、一社単独では実施の難しい「福利厚生」と「退職金積立」を企業に代わって実施しています。札幌市や札幌商工会議所などの出資により昭和50年3月に設立、現在、約8,800社、約75,000人の会員が加入しています。

福利共済制度

結婚・出産・入学などの10項目の慶弔金の贈呈。多彩な企画事業の参加、定期健診・人間ドック、旅行、レクリエーション施設などの割安利用。コンサートやプロスポーツ観戦チケットの助成やマイカーローンなどの低金利での融資あっせんに至るまで、豊富なメニューを取りそろえています。

退職金共済制度

委託生命保険会社7社で「安全・堅実」な運用を行い、将来に備えての退職金が積み立てられます。なお、委託生保の運用実績で予定利率を上回り、配当が付いた場合には、その相当額が支給額に付与します。

加入地域・対象

事業所が札幌市内の法人企業（個人で事業を営む個人企業も含む）で働く事業主および従業員。また、法人役員、パートタイマーの方も加入できます。なお、平成25年4月からは加入地域の拡大を図り、札幌市内に居住する従業員が勤務する市外企業も加入できるようになりました。

会費額

ひとり月額1,000円（福利会費600円、残り400円が退職積立金）から加入できます。600円の福利会費は固定ですが、掛け金はいずれも1,000円単位で、従業員は最高月額30,000円まで、事業主や法人役員などは最高月額200,000円まで、積み立て可能です。

企業が負担する従業員分の会費は、全額損金、または必要経費に計上できます。また退職金は、退職所得税の控除対象となり、税制面で大きな特典があります。

【お問い合わせ先】 公益財団法人札幌市中小企業共済センター 業務推進室
札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル6F
電話：011-221-3984 <http://www.support-sapporo.or.jp>

がんばれ!! 札幌の企業

第18回 株式会社 ノア

代表取締役 太田 初

北海道技術開発センター：
札幌市北区 21 条西 12 丁目 2
北大ビジネス・スプリング 307 号
HP : <http://www.kknoa.co.jp/>



デジカメ感覚の 3D スキャナー 「Hapimo:3D」

株式会社ノアは、茨城県つくば市に本社を持つ、機械・通信を中心とする制御・組み込み技術を行う企業で、印刷機への組み込みを中心としたファームウェアなどの開発を行っています。札幌の研究拠点を中心に、組み込みソフトウェア技術及び光学技術をベースとした独自技術とノウハウを活かして、3Dスキャナーの研究開発を行ってきました。

中でも「Hapimo:3D」は、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業に採択された、今年2月より発売されている非常に手軽な3Dスキャナーです。

3Dプリンター普及時代にマッチした、デジカメ感覚の3Dスキャナーの商品化に成功。

従来の3Dスキャナーでは、設置環境の制約が多かったり、また機器の取り扱いに専門的知識が必要であったり、制約のあるものが多いのが現状でした。

この「Hapimo:3D」の最も大きな特長として、デジカメのように、対象物の写真を撮影する感覚で、3Dのデータを瞬時に分析し、アウトプットできるようになっています。「3Dプリンターの普及が進み、ニーズは広がっていますが、データを制作するのにCADなど専門知識が必要でハードルが高いのが現状。この商品は手軽に3Dデータを制作できるので、さらなる3Dプリンターの活用領域の可能性が広がります」と長枝取締役。他領域へもさまざまな3Dスキャナー活用の提案を行っていききたいとのこと。



お話を伺った長枝取締役

スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業紹介 37

株式会社レッドブリック

「システムの企画・分析・設計・構築・導入から、システムの運用・保守まで、トータルに IT サービスを提供していきます。」

株式会社レッドブリックは、平成25年2月に代表の廣川氏が、「大手IT企業にはできない小回りの効くシステム開発会社を目指して設立しました。特に北海道色の強い分野で活躍したいと考えています。」

社名であるレッドブリック (Red Brick) は出身地江別市の名産 (日本一の生産量) であり北海道遺産でもある「赤れんが」にちなみ名付けました。北海道庁旧本庁舎も赤れんが庁舎と呼ばれています。北海道から日本全国に出荷される「赤れんが」のように、全国のIT導入に貢献していきたいと考えています。」という想いから創業されました。

廣川氏は、「札幌市が全国に先駆けて整備した研究開発型の工業団地である札幌テクノパーク開設時の1987年から2012年まで25年間に及び札幌テクノパークに勤めており、地元IT業界の人脈が豊富です。また、技術開発職、営業職ともに15年以上の経験があり今後活用できる技術的なサポート企業及び営業ネットワーク企業が多数ある強みがあります。」

同社の業務内容は、「主にソフトウェア開発です。Webシステムからクライアント・サーバーシステムなどさまざまな分野のオーダーメイドのソフトウェア開発をシステム設計構築から運用保守まで行っています。保有業務スキルは監視制御 (雪対策制御、ICタグ応用 他) が得意業務です。他に流通・物流・製造業務 (営業支援、見積管理、受注管理、生産管理、発注管理、入出荷管理、品質管理、在庫管理、スタッフ管理 他) となります。保有技術スキルはOSがWindows系、Linux系、UNIX系など、DBMSはOracle、Microsoft SQL Server、フレームワーク/ライブラリは.NET Framework、Struts、intra-mart、Web/AP

サーバーはIIS、Apache、Tomcatなど、開発言語はC#.NET、VB.NET、PL/SQL、Java、Perl、PHPなどです。具体的にどのようなシステムを開発しているかはセキュリティ上守秘義務がありお伝えできませんが意外と身近なものに弊社のソフトウェアが関わっています。」

今後、同社の事業展開としては、「ソフトウェア開発は少数精鋭部隊で品質を落とさず開発工程を見直し経費を抑えることでユーザーの費用負担も軽減させられます。弊社が得意とするオーダーメイドのソフトウェア開発はユーザー要望に対して聞く耳をもちコミュニケーションを大切にユーザーと人間味あふれる接し方を目指しより良い提案をしていきます。納品後のアフターケアにも力を入れユーザー側の満足及び安心を向上させることを目標とします。満足度からの評判により認知度UPにもつながればと考えています。」

廣川氏が最後に次のようなメッセージで締めくくって頂きました。「雪対策システムなど北海道色の強い分野で活躍したいです。また、ソフトウェア開発という業種は他業種とも連携することができます。今後はさまざまな業種のお客様とコラボレーションの実現に期待しています。最後になりますが、この施設を卒業するまでには北海道及び札幌市の経済に少しでも貢献できる企業になればよいと考えています。」

株式会社レッドブリック

代表取締役 廣川 隆

〒003-0005

札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号

札幌市産業振興センター3階

電話：011-820-2008 FAX：011-351-2657

URL：<http://www.redbrick.co.jp/>



スタートアップ・プロジェクト
ルームとは？

札幌市産業振興センターの3Fに設置しているインキュベーション (起業支援) 施設です。新たな技術やビジネスモデルを持つ意欲あふれる個人や中小企業を対象に低廉な費用で部屋を提供するとともに、さまざまな支援策により企業の成長をバックアップします。入居企業は年に4回募集しています。詳しくは産業振興センターへお問い合わせください。(8ページ参照)

景況感が5期連続で改善 —平成25年度下期企業経営動向調査速報—

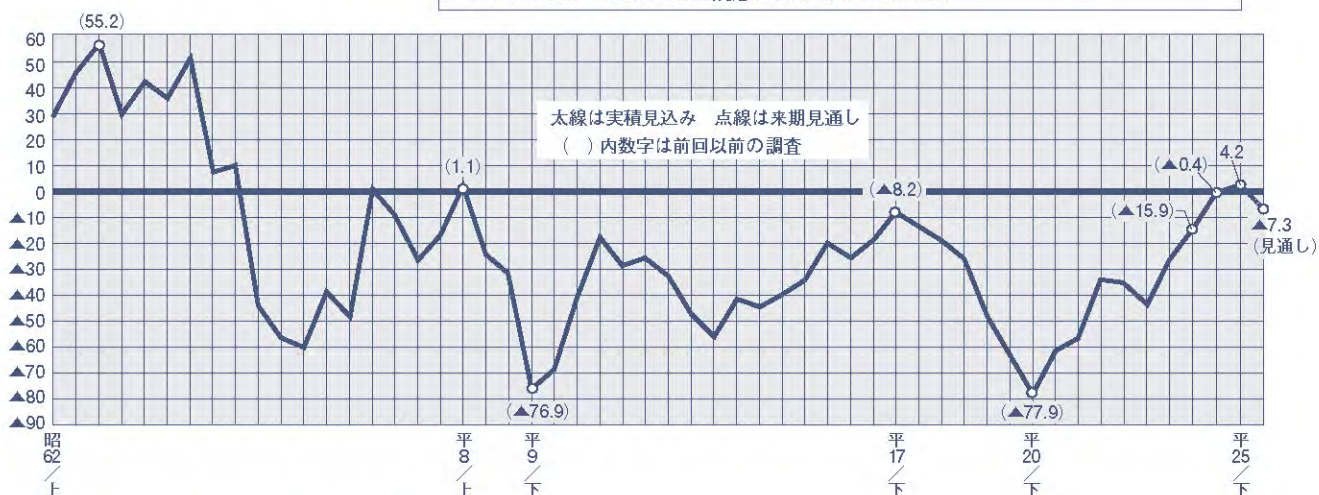
札幌市は今年2月、市内に事業所を有する企業、団体、個人事業者計2,000社を対象に市内の景況判断などを調査する「札幌市企業経営動向調査（平成25年度下期）」を実施し762社（2月28日現在）から有効回答があり、速報ベースで市内景況判断B.S.I.は、23年度下期から、5期連続の上昇となりました。

市内の景気

25年度下期の市内の景気について、25年度上期に比べ「上昇」とみる企業の割合（23.0%）から「下降」とみる企業の割合（18.8%）を減じた市内景況判断B.S.I.は4.2とプラスに転じ、前回調査時（▲0.4）から4.6ポイント上昇しました。23年度下期から今回まで5期連続の改善となりました。なお、26年度上期の市内景況判断B.S.I.（見通し）については▲7.3と大きく下降する見通しとなっています。

◎市内の景気（B.S.I.の動き）

※B.S.I.（景気動向指数）＝「上昇（増加）」の割合－「下降（減少）」の割合
マイナス値が大きいほど景況感が悪いと判断される。



自社の業績（売上高・経常利益）

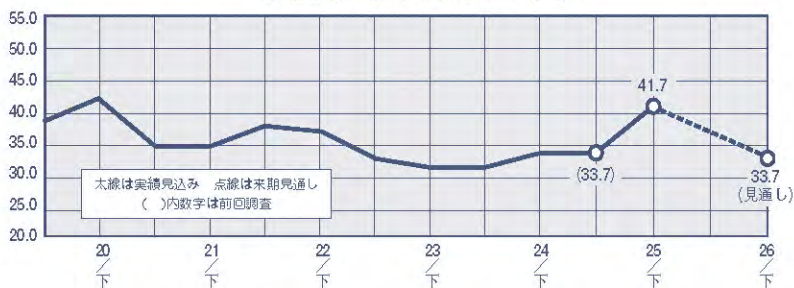
自社の売上高の25年度下期のB.S.I.は10.9（前回調査▲1.6）、経常利益は▲1.3（前回調査▲9.7）と、売上高、経常利益ともに前回調査時より改善しています。26年度上期については、売上高判断B.S.I.は▲8.9、経常利益判断B.S.I.は▲18.2と、両者とも大幅に減少する見通しとなっています。

設備投資の実施割合

過去1年間に設備投資を実施した企業の割合は41.7%（前回調査33.7%）で、8.0ポイント上昇しています。

今後1年間に設備投資を実施する予定の企業の割合は33.7%と今回より減少する見通しとなっています。

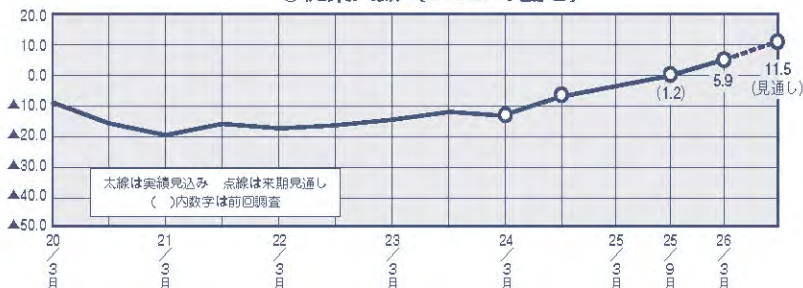
◎設備投資の実施割合の推移



従業員数

26年3月末現在の従業員数（常用雇用者）について、25年9月末と比べて「増加」した企業の割合（15.6%）から「減少」した企業の割合（9.7%）を減じたB.S.I.は5.9であり、前回調査1.2から改善しています。26年9月末の従業員数（常用雇用者）見込みについても、B.S.I.は11.5と、さらに改善の見通しとなっています。

◎従業員数（B.S.I.の動き）



上記は速報値です。

確報値は4月上旬に札幌市経済局のホームページ<http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/joho/dokochosa.html>に掲載予定で、数値が変動する可能性があります。

【お問い合わせ先】

札幌市経済局産業振興部経済企画課
電話：011-211-2352

札幌市エレクトロニクスセンター内にウェットラボを開設!

「札幌市エレクトロニクスセンター」ウェットラボの入居者募集中!

札幌市では、食・バイオ関連企業が研究・実験・検査・分析などに利用できるウェット仕様のレンタルラボを整備し、入居企業の募集を開始しました。

食・バイオ関連の研究開発の推進と、IT企業との連携による新たなビジネスの創出を目指し、IT企業が多く集積する札幌テクノパーク（厚別区下野幌）の中核施設「札幌市エレクトロニクスセンター」内に、ウェットラボを整備しました。

入居者は随時募集中。施設見学も可能ですので下記までお気軽にご相談ください。周囲を緑豊かな自然に囲まれたウェットラボで研究開発を進めてみませんか?



- “公的機関などとの共同研究” の条件なし
- 入居期限なし
- フロア・各部屋入口にセキュリティシステム完備
- 賃料 2,450 円/月㎡ (共益費込み)
- 駐車場有 (4,000 円/月)
- 貸会議室有 (有料)

ウェットラボのリーフレットは下記 HP に掲載しています。
http://www.sec.or.jp/elecen/renovation/elecen_wetlabo.pdf

ウェットラボの入居時に補助制度がご利用いただけます

企業誘致の補助制度「IT・コンテンツ・バイオ立地促進補助制度」を改正。市内企業がウェットラボに入居する場合にもご利用いただけるようになりました。

- 入居に伴う工事費、機器購入費等の 1/2 を補助 (最大 800 万円)
- 入居に伴い正社員を増やした場合、増加人数に応じて補助加算あり (最大 600 万円×2年間)

※補助制度の詳細は下記 HP に掲載しています。
http://www.city.sapporo.jp/keizai/biz_info/seido/

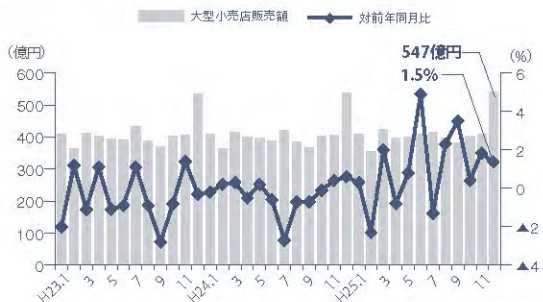
【お問い合わせ先】 ○ウェットラボ入居について (一財) さっぽろ産業振興財団 電話: 011-807-6000
 ○補助制度について 札幌市経済局産業振興部立地促進担当課 電話: 011-211-2352

データで見る! さっぽろ経済の動き

統計データの一部から最近の札幌経済の動きをご紹介します

最近の札幌経済は、住宅着工の持ち直しの動きが鈍化しているものの、個人消費や観光客数が持ち直しているなど、全体としては、緩やかに持ち直しています。

【大型小売店販売額推移 (札幌市)】



<資料>北海道経済産業局

【求人数・有効求人倍率 (札幌圏)】



<資料>北海道労働局

その他、統計情報について詳しくは、札幌市経済局ホームページ「データで見る! さっぽろ経済の動き」をご覧ください。
<http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/jyuhou/data/index.html>

データで見る!
 さっぽろ経済の動き

中小企業経営セミナー

産業振興センターの中小企業経営セミナーをご利用ください。

ホームページ (<http://seminar.sapporosansin.jp>) からもお申し込みできます。

2014年5月中小企業経営セミナー (4月11日午前9:00より受付)

コース	内容	実施日	時間	定員	受講料
海外販路拡大セミナー (第1回)	これから海外に販路を拡大しようと考えている企業担当者向けに、海外における嗜好性の違いやニーズの紹介。海外の輸入制度や規制に関する情報提供といったお話を、さっぽろ産業振興財団の輸出業務チームリーダーに伺う。	5月15日 (木)	13:30~16:00	36名	無料
金融機関融資担当者向けセミナー (第1回)	金融担当者としての知識に厚みを持っていただくため、札幌市等の制度融資に関して総括的なお話を聞く。	5月20日 (火)	13:30~16:00	36名	無料
創業希望者向け支援施策紹介セミナー	創業を目指す方へ、色々な支援メニューの紹介や、支援を行っている組織、団体の紹介。	5月22日 (木)	13:30~16:00	36名	無料
社内人材育成研修 (第1回)	新入社員を対象に、爽やかな印象を与える接客の基本や接客動作を実習を通し身につけてもらう。	5月28日 (水)	9:30~16:30	20名	5,000円

【お申し込み先】 札幌市産業振興センター
 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 地下鉄東西線 東札幌駅1番出口徒歩7分
 電話: 011-820-3122 FAX: 011-820-3220 <http://www.sapporosansin.jp>